



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 住友重機械工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6302 URL <https://www.shi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下村 真司  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 島村 佳孝 (TEL) 03-6737-2333  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	772,505	—	49,732	—	50,362	—	34,319	—
2022年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 66,970百万円(—%) 2022年12月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	280.17	—
2022年12月期第3四半期	—	—

(注) 当社は前連結会計年度より決算日を3月31日から12月31日に変更しております。決算期変更の経過期間となる前連結会計年度は、第3四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年12月期第3四半期の連結経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,232,702	630,685	50.6
2022年12月期	1,148,870	576,922	49.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 623,248百万円 2022年12月期 569,263百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2023年12月期	—	60.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,075,000	—	64,000	—	60,000	—	38,000	—	310.21

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2022年12月期は決算期変更により変則的な決算となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年12月期 3 Q	122,905,481株	2022年12月期	122,905,481株
2023年12月期 3 Q	416,892株	2022年12月期	409,650株
2023年12月期 3 Q	122,491,955株	2022年12月期 3 Q	—株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、取締役等への株式報酬制度のために設定した株式交付信託に係る信託口が保有する当社株式を含めております。

※当社は前連結会計年度より決算日を3月31日から12月31日に変更しております。決算期変更の経過期間となる前連結会計年度は、第3四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年12月期第3四半期の期中平均株式数 (四半期累計) については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
(1) セグメント別受注高・売上高及び営業損益・受注残高	10
(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社は前連結会計年度より決算日を3月31日から12月31日に変更しております。決算期変更の経過期間となる前連結会計年度は、第3四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため参考値として、当第3四半期連結累計期間と同一期間となるように組み替えた前年同四半期(以下「調整後前年同四半期」という。)による比較情報を記載しております。

(単位：百万円)

	調整後前年同四半期 (2022/1～2022/9)	当第3四半期 (2023/1～2023/9)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
受注高	885,470	752,538	△132,932	△15.0
売上高	740,816	772,505	31,689	4.3
営業利益	41,882	49,732	7,850	18.7
経常利益	44,126	50,362	6,236	14.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	29,479	34,319	4,839	16.4

当第3四半期における当社グループを取り巻く経営環境は、国内においては、一部底堅い分野があるものの、製造業を中心に設備投資は力強さを欠き、半導体市況の調整局面が続くなど、全般に弱さが見られました。海外においては、米国などで景気が緩やかに回復し、設備投資も堅調に推移する一方、欧州ではインフレ進展による経済の減速、東南アジアにおいても投資マインドの低下が見られました。中国においては、不動産市況の悪化により生産、消費の持ち直しの動きが鈍く、需要の減少が続いています。また、調達品の需給逼迫が緩和する中、一部資材の価格上昇は継続し、加えてロシア・ウクライナ問題などの地政学上リスクが残るなど、依然として不透明感が高い状態でもありました。

このような経営環境のもと、当社グループは「中期経営計画2023」を推進し、製品・サービスによる社会課題解決を通じて持続的に企業価値を拡大することをめざし、強靱な事業体の構築、企業価値向上のための変革、SDGsへの貢献拡大及び環境負荷低減への取組み強化などの施策を推進してまいりました。

この結果、当社グループの受注高は7,525億円(調整後前年同四半期比15%減)、売上高は7,725億円(調整後前年同四半期比4%増)となりました。損益面につきましては、営業利益は497億円(調整後前年同四半期比19%増)、経常利益は504億円(調整後前年同四半期比14%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は343億円(調整後前年同四半期比16%増)となりました。

各セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

## ① メカトロニクス

中小型の減速機やモータの需要が、欧米での顧客の在庫調整の影響や、中国での市況の低迷により停滞したことから受注は減少しました。一方、受注残があったこともあり、売上、営業利益ともに増加しました。

この結果、受注高は1,509億円(調整後前年同四半期比10%減)、売上高は1,620億円(調整後前年同四半期比13%増)、営業利益は95億円(調整後前年同四半期比114%増)となりました。

## ② インダストリアル マシナリー

プラスチック加工機械事業は、中国では電気電子関連の需要が停滞し、国内や欧州においても投資の冷え込みにより受注、売上、営業利益ともに減少しました。

その他の事業は、半導体市況軟化に伴う顧客の在庫調整や投資先送りなどの影響を受け、受注は減少しましたが、受注残があったこともあり、売上、営業利益ともに増加しました。

この結果、受注高は1,978億円(調整後前年同四半期比22%減)、売上高は2,004億円(調整後前年同四半期比5%増)、営業利益は175億円(調整後前年同四半期比5%減)となりました。

## ③ ロジスティクス&amp;コンストラクション

油圧ショベル事業は、米国での前期の先行発注の反動減などにより受注は減少したものの、受注残があったこともあり売上、営業利益ともに増加しました。

その他の事業では、建設用クレーン事業が、北米の需要が底堅く推移したことから受注、売上ともに増加しました。一方、固定費の増加などにより営業利益は減少しました。また、運搬機械事業は、港湾クレーンでの大型案件があったことから受注は増加したものの、当期売上対象となる案件が少なかったことから売上、営業利益ともに減少しました。

この結果、受注高は2,970億円(調整後前年同四半期比4%減)、売上高は2,793億円(調整後前年同四半期比8%増)、営業利益は181億円(調整後前年同四半期比38%増)となりました。

## ④ エネルギー&amp;ライフライン

エネルギープラント事業は、国内のバイオマス発電設備の大型案件の減少により受注、売上ともに減少しました。一方、欧州での大型プロジェクトにおける不採算案件の減少などにより営業利益は増加しました。

その他の事業は、大型案件の減少及び前期に実施した一般廃棄物処理事業の譲渡の影響などにより受注、売上、営業利益ともに減少しました。

この結果、受注高は1,023億円(調整後前年同四半期比31%減)、売上高は1,262億円(調整後前年同四半期比12%減)、営業利益は31億円(調整後前年同四半期比27%減)となりました。

## ⑤ その他

受注高は46億円(調整後前年同四半期比7%増)、売上高は46億円(調整後前年同四半期比10%増)、営業利益は15億円(調整後前年同四半期比1%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末(2023年9月30日)における総資産は、前連結会計年度末と比べて受取手形、売掛金及び契約資産が148億円減少した一方、棚卸資産が639億円、有形固定資産が188億円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末比838億円増の1兆2,327億円となりました。

負債合計は、有利子負債が229億円増加したことなどにより、前連結会計年度末比301億円増の6,020億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が324億円、利益剰余金が216億円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末比538億円増の6,307億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比1.0ポイント増の50.6%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ120億円増加し、1,057億円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度は、決算期変更の経過期間であったことから、第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりません。このため、対前年同期比増減については記載しておりません。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、369億円の資金の増加となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益499億円、減価償却費265億円、売上債権及び契約資産の減少額164億円であります。支出の主な内訳は、棚卸資産の増加額475億円、仕入債務の減少額123億円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、323億円の資金の減少となりました。支出の主な内訳は、固定資産の取得による支出312億円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、30億円の資金の増加となりました。収入の主な内訳は有利子負債の増加額185億円であります。支出の主な内訳は配当金の支払額128億円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月7日の決算短信で公表した2023年12月期の連結業績予想につきましては、修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	97,476	109,799
受取手形、売掛金及び契約資産	300,281	285,519
棚卸資産	275,528	339,399
その他	43,734	41,002
貸倒引当金	△5,662	△8,575
流動資産合計	711,358	767,145
固定資産		
有形固定資産		
土地	110,701	111,462
その他(純額)	209,376	227,413
有形固定資産合計	320,077	338,876
無形固定資産		
のれん	19,223	20,142
その他	37,421	38,774
無形固定資産合計	56,644	58,915
投資その他の資産		
その他	62,114	69,271
貸倒引当金	△1,322	△1,505
投資その他の資産合計	60,792	67,766
固定資産合計	437,512	465,557
資産合計	1,148,870	1,232,702
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	186,282	186,126
短期借入金	36,442	60,799
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	16,985	20,269
コマーシャル・ペーパー	25,000	14,000
賞与引当金	7,513	14,046
保証工事引当金	10,603	11,410
その他の引当金	4,177	3,194
その他	121,235	118,200
流動負債合計	418,238	438,045
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	32,338	38,642
退職給付に係る負債	36,363	41,063
再評価に係る繰延税金負債	20,479	20,409
引当金	158	164
その他	24,371	23,694
固定負債合計	153,710	163,971
負債合計	571,948	602,017

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,872	30,872
資本剰余金	25,203	25,203
利益剰余金	413,570	435,154
自己株式	△1,149	△1,173
株主資本合計	468,496	490,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,763	6,794
繰延ヘッジ損益	△752	△1,571
土地再評価差額金	40,442	40,308
為替換算調整勘定	50,534	82,908
退職給付に係る調整累計額	5,780	4,754
その他の包括利益累計額合計	100,767	133,192
非支配株主持分	7,659	7,437
純資産合計	576,922	630,685
負債純資産合計	1,148,870	1,232,702



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	772,505
売上原価	589,910
売上総利益	182,595
販売費及び一般管理費	132,863
営業利益	49,732
営業外収益	
受取利息	1,070
受取配当金	390
為替差益	2,244
その他	2,190
営業外収益合計	5,894
営業外費用	
支払利息	1,747
特許関係費用	928
その他	2,589
営業外費用合計	5,264
経常利益	50,362
特別損失	
減損損失	483
特別損失合計	483
税金等調整前四半期純利益	49,879
法人税等	16,068
四半期純利益	33,812
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△507
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,319

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	33,812
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	2,031
繰延ヘッジ損益	△819
為替換算調整勘定	32,971
退職給付に係る調整額	△1,028
持分法適用会社に対する持分相当額	2
その他の包括利益合計	33,158
四半期包括利益	66,970
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	66,878
非支配株主に係る四半期包括利益	92

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) セグメント別受注高・売上高及び営業損益・受注残高

当社は前連結会計年度より決算日を3月31日から12月31日に変更しております。決算期変更の経過期間となる前連結会計年度は、第3四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため参考値として、当第3四半期連結累計期間と同一期間となるように組み替えた前年同四半期(以下「調整後前年同四半期」という。)による比較情報を下記に表示しております。

## ① 受注高

(単位：百万円)

セグメント	調整後前年同四半期 (2022/1～2022/9)	当第3四半期 (2023/1～2023/9)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
メカトロニクス	167,942	150,854	△17,088	△10.2
インダストリアル マシナリー	254,537	197,810	△56,727	△22.3
ロジスティクス& コンストラクション	309,593	297,044	△12,549	△4.1
エネルギー& ライフライン	149,147	102,268	△46,879	△31.4
その他	4,251	4,561	310	7.3
合計	885,470	752,538	△132,932	△15.0

## ② 売上高及び営業損益

(単位：百万円)

セグメント	調整後前年同四半期 (2022/1～2022/9)		当第3四半期 (2023/1～2023/9)		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
メカトロニクス	143,330	4,437	161,975	9,492	18,646	5,055
インダストリアル マシナリー	191,651	18,543	200,383	17,542	8,732	△1,001
ロジスティクス& コンストラクション	258,993	13,168	279,318	18,122	20,325	4,954
エネルギー& ライフライン	142,657	4,263	126,244	3,125	△16,414	△1,138
その他	4,185	1,502	4,585	1,469	400	△33
調整額	—	△32	—	△17	—	14
合計	740,816	41,882	772,505	49,732	31,689	7,850

## ③ 受注残高

(単位：百万円)

セグメント	前期末 (2022.12.31)	当第3四半期末 (2023.9.30)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
メカトロニクス	113,841	102,720	△11,121	△9.8
インダストリアル マシナリー	195,263	192,690	△2,573	△1.3
ロジスティクス& コンストラクション	257,628	275,355	17,726	6.9
エネルギー& ライフライン	262,601	238,625	△23,976	△9.1
その他	1,751	1,728	△24	△1.3
合計	831,084	811,117	△19,967	△2.4

当社のセグメント区分は、以下のとおりであります。

事業区分	主要製品
メカトロニクス	減・変速機、モータ、インバータ、レーザ加工システム、精密位置決め装置、制御システム装置
インダストリアルマシナリー	プラスチック加工機械、フィルム加工機械、極低温冷凍機、精密鍛造品、半導体製造装置、加速器、医療機械器具、鍛造プレス、工作機械、空調設備、防衛装備品
ロジスティックス&コンストラクション	油圧ショベル、建設用クレーン、道路機械、運搬荷役機械、物流システム、駐車場システム
エネルギー&ライフライン	自家発電設備、ボイラ、大気汚染防止装置、水処理装置、タービン、ポンプ、反応容器、攪拌槽、食品製造機械、船舶

## (2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前連結会計年度は、決算期変更の経過期間であったことから、第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりません。このため、前第3四半期累計実績及び当第3四半期累計実績との増減については記載しておりません。

(単位：百万円)

		当第3四半期 (2023/1～2023/9)
	税金等調整前四半期純利益	49,879
	減価償却費	26,545
	売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	16,389
	棚卸資産の増減額(△は増加)	△47,518
	仕入債務の増減額(△は減少)	△12,277
	法人税等の支払額	△8,107
	その他	11,990
	営業活動によるキャッシュ・フロー	36,901
	固定資産の取得による支出	△31,220
	その他	△1,128
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,349
	有利子負債の増減額(△は減少)	18,534
	配当金の支払額	△12,842
	その他	△2,653
	財務活動によるキャッシュ・フロー	3,039
	その他	4,391
	現金及び現金同等物の期首残高	93,727
	現金及び現金同等物の四半期末残高	105,710